



奉仕を通じて
平和を

田中作次
2012-13年度
国際ロータリー会長

国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

平成25年3月12日(火)
第2623回 例会
(本年度第32回)

例会場 東京第一ホテル鶴岡
(鶴岡市錦町 2-10)

例会日 毎週火曜日
(12:30~13:30)

ホームページ◎<http://www.tsuruokarc.org/> Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp

本日(3/19)のメインプログラム

会員スピーチ
樋渡 美智子 さん

次週(3/26)のメインプログラム

RI規程休会

会長挨拶

阿部純次 君

皆さんこんにちは。先週の5日は、華夕美日本海さんにおいて、今回初の試みであります「お雛様の鑑賞とうどんを打って賞味する」会を開催させていただきました。うどん打ちには、5名の方が挑戦しました。菅原成規先生のうどん打ちの手ほどきを受けながら、長いうどん、短いうどん、太いうどん、細いうどんと様ざまのうどんが出来上がりましたが、「見た目より味が勝っている」と、うどん打ちした皆さんは自画自賛しておりました。菅原成規さん、大変な指導だったと思います。有難うございました。

また 当日は遅ればせながら村上真彌君の歓迎会も併せて開催させていただきました。西川幹事の華夕美さんから上手に調理していただいた、美味しいうどんと料理を堪能させていただき和やかな楽しい歓迎会となりました。村上真彌新会員のこれからの活躍を期待しております。そして菅原さん・西川さん、協力本当に有難うございました。また参加いただいた皆様も有難うございました。

先々週2月26日には、インフォーマルミーティングと橋本至君の送別会を開催致しました。24名の出席のもと、インフォーマルミーティングでは塚原PGを講師として「30年のロータリーライフ」と題しまして、塚原PGが歩んできたロータリー生活を15項目に要約しながら語っていただきました。入会の動機から始まり、ご自身の体調の話までこれまで経験された色々な人生模様を拝聴させていただき感じ入った次第です。塚原PG誠に有難うございました。

幹事報告

西川 富美子 君

青少年交換委員長 斎藤秀紀

◎青少年交換会議のご案内

日 時:3月9日(土)PM6:30~8:00

会 場:東京第一ホテル鶴岡9F

登録料:なし(2名の参加をお願いします)

GE事務所

◎地区協議会のご案内

日 時:4月7日(日)登録AM10:00~

会 場:天童ホテル

参加者:会長エレクト・次期幹事・次期委員長

登録料:一人2,000円×人数分 締切:3/21

お世話になりました

米山奨学生 金 紅蘭 さん

あっという間に2年間過ぎました。皆様のおかげで米山奨学生として多くの経験をさせていただきました。今日が最後なので中国っぽいお土産を準備しました。月餅です。新しいスタートになりますが、あと半年は鶴岡におりますのでまた皆さんとお会いできればいいなと思っています。毎月2千円ずつ貯金し、3万円をご寄付したいと思います。今までありがとうございました。



ゲストスピーチ

NHK文化センター庄内支社 支社長 中里 勉 氏



◎自己紹介

NHK文化センターの中里勉と申します。庄内に来て5年目。出身は仙台。昭和45年(1970年)にNHK仙台放送局に入局。職種は総務、営業。主な勤務地は仙台、盛岡、郡山、東京。直前はいわき支局

(支局長)。平成20年より現職。

出席報告	会員数	41名
	出席	23名
	出席率	58.97%
	前々回確定出席率	74.36%

■RI会長 田中作次

■地区ガバナー 和田 廣

■会長/阿部純次 ■副会長/丸山隆志 ■幹事/西川富美子 ■会長エレクト/嶺岸禮三
■会報委員会/橋本 至・嶺岸禮三・小林健郎・武田啓之

事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL(0235)28-3375 FAX(0235)28-3376

○赤い貯金箱

1970年は大阪で万国博覧会が行われた年。入局してすぐに新人研修があった。受信料を集金する現場研修。場所は仙台駅の東側、それほど大きなビルが建っていなかった時代。ある一軒の貸家。引き戸をあけて、奥様に集金のお願いをした。お金がないという。玄関先でまごまごしていると、奥の方に引っ込み、赤い貯金箱を持って出てきた。すごい形相。目の前で貯金箱をガチャンと割る。小銭が散らばる。拾って630円を渡された。

部屋のすみでは、小さな女の子が泣いていた。その夜は眠れなかった。18歳の頃のほろ苦い思い出。

○雪の降らない(?) 鶴岡

鶴岡で文化センターの仕事をするようになった時、支局に電話を入れた。「あまり降りませんよ」との答え。いわきは、まったくといっていいほど雪の降らないところ。安心して7月に赴任した。

その年の冬を迎え、防雪柵が立つころになると、雪が降り出した。地吹雪の中を酒田まで往復。けっこう積もる雪。

鶴ヶ岡公園に中田喜直さんの「雪の降る町を」のモニュメントが建てられるほど、鶴岡は「雪の降る町」であった。

○講座案内(チラシ)は 皮とあんこ

講座案内は年4回発行している。25年4~6月期は3月1日に発行。新聞各紙に折り込んだ。今回は8頁。この情報をどのように読み解いたらいいのか悩む。そこで考えた。

講座案内を饅頭に例えると、皮(表と裏面)の部分とあんこ(中面)の部分で説明することができる。

まず、あんこの部分を引き出す。あんこ部分にはこれまで続いている定時の講座が、ジャンルごとに書いてある。最初に「教養・文芸」「短歌や俳句等の講座が並んでいる。以下、「くらし」「外国語」「絵画・書道」等。「酒田清水屋」では手芸を中心に講座を続けている。

皮の部分は、新しい講座が多い。1頁の「吉田類さんの酒場の楽しみ方」講座は定員100名が2日間で満席となった。50名の方がキャンセル待ち状態。2頁は「旅行」や「現地」を歩く講座。心も体も躍動する。4頁にはイタリア料理など美味しい「食」の講座が目白押し。お目に留まれば、奥様やご主人にご紹介を。

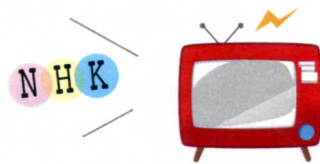
○やるかやらないか

一昨年(2019年)の3月11日の震災は庄内にも少なからぬ影響を与えた。直接的な被害は無かったものの、ガソリン不足の問題や節電の話で右往左往。連日対応に追われた。

鶴岡市中央公民館で予定していた、「キッズジャズダンス」の発表会(4/3)は、実施するか、しないか決断を迫られた。多くの催し物が中止になり、延期された。世の中(2020年)の空気が「こんなときに」の雰囲気(2020年)が日増しに強くなっていった。しかし、子供たちを含め、保護者や先生が何度も議論を重ね、「こんなときだからこそ」の思いでやることに決めた。震災後1か月半ぐらいたつと、イベント復活の動きが各地・各所で活発化していった。ひとつの決断が、子供たちに点った明るい希望の灯火を輝かせ続けた。

○楽しいことをやってみよう

食材が豊かで、空気の美味しい庄内もいよいよ長寿時代。100歳まで生きる人たちがずいぶん見られるようになった。どこからのスタートであれ残りの人生は、好奇心を持って多くのことにチャレンジしていくことが大切だと思うようになった。文化センターには、200以上の講座がある。知る楽しみ、うたを歌って声を出す、ヨーガのような体を動かすこともいい。楽しむことが一番。苦勞もいつか思い出に変わる。本当の楽しみはこれから。「ああ生きてて良かった」と思えるような人生をいっしょに歩いていきましょう。



委員会報告

◆出席委員会

◎ゲスト

中里 勉氏 (NHK文化センター庄内支社 支社長)
金 紅蘭さん (米山奨学生)

◎メイクされた方

藤川享胤・前田 優・佐藤詩郎・佐藤友行
武田啓之

スマイル 😊

佐藤孝子さん 金さん又お会いしたいですね。中里さんスピーチありがとう。

阿部純次君 中里勉支社長様、スピーチありがとうございました。金さんも今日最後の例会ですがこれからも頑張ってください。寄付金大変ありがとうございました。

樋渡美智子さん 中里支社長さんにはいつもお世話になっております。以前と比べて、沢山の講座があり、様々な講師達、支社長さんの人徳のおかげではないでしょうか？

青柳孝治君 永らく欠席させていただき、ありがとうございました。回復しましたので、又出席させていただくことにしましたのでスマイルします。